

〔科目名〕 経営学基礎論b	〔単位数〕 4 単位	〔科目区分〕 専門科目 基礎科目
〔担当者〕 藤沼 司、行本 雅、中川 宗人 FUJINUMA Tsukasa YUKIMOTO Tadashi NAKAGAWA Muneto	〔オフィス・アワー〕 時間: 講義の中で説明します 場所: 506 室	〔授業の方法〕 講義
〔科目の概要〕 <p>経営学で学ぶ「経営(Management)」とは、広い意味では「扱いにくいものや事柄を首尾よく取り扱うこと」と考えられています。世の中にあるありとあらゆるものや事柄を取り扱うために、「経営」が求められます。「経営」の対象は、「企業」に限られたものではなく、さまざまな「組織」に広がっており、これらの運営にはその「経営」が重要な役割を持っています。</p> <p>そこで、本授業では、「経営学」の理解を通じて、これらの組織を運営するための基本的な考え方を学び理解していくことを目的とします。組織において「ヒト・モノ・カネ・情報」といった資源は限定的であり、それを効率的かつ有効に配分し活用しなければなりません。また、効率的な運営には組織を効率的に運営するための仕組みが欠かせません。「経営」は、これらの要素をどのように、組み合わせ調整していくのが重要な要素となっていきます。</p> <p>本授業では、経営学の基本的な領域を抑えながら、その仕組みや動きを学ぶことを中心に講義を展開していきます。</p>		
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け）・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 <p>本授業の名称が示す通り「経営学基礎論」は、経営学の基本的な概念を経営学をカバーする幅広い分野において学んでいきます。組織を効率的かつ有効に機能させるためには「組織論」の概念が重要な考えになります。また、その関係性を人の側面からとらえるには「人事管理論」が重要となります。さらにお金に焦点をあてると「財務管理論」が重要な考えになりますし、ものを作ることに焦点をあてれば「生産管理」が重要になっていきます。これら全体を網羅する学問が「経営」となりますので、本授業は今後、皆さんが授業で本格的に学んでいく「経営学」の基本的な概念を学ぶことで、全体を網羅的にカバーすることになります。本講義では、狭義の「経営学」に焦点をあてて考えていきます。</p>		
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 <p>経営学で用いられる用語の多くは、一般化され、日常でも使われることが多い用語でもあります。しかし、学問的な分野から学んでいく際には、その内容が専門的になることもあります。よって、経営学で学ぶ用語や今後、学ぶ領域の入り口となる知識の学修が、本授業の目的となります。</p> <p>本授業の最終目標としては、みなさんが、大学 4 年間を通じて学ぶ中で、さまざまな知識の基本的概念や考え方を理解し、今後の学修をスムーズに進めることができるような知識を習得できるようにすることが、最終目標となります。</p>		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 <p>本授業は担当教員にとって、初年度の授業になりますが、他の授業でのコメントとして「説明が長い」、「説明が早口で理解しにくい」というものがありました。</p> <p>学生の皆さんにとっては、初めて「経営学」というものに触れる機会であり、本格的に「経営学」を学ぶ入り口となる授業となりますので、経営学の基礎知識のない皆さんにとって、理解しやすいように具体例を多用して、説明していく予定です。</p>		
〔教科書〕 特に指定しません。		
〔指定図書〕 青島矢一(2022)『初めての経営学 経営学入門』東洋経済新聞社。 伊丹敬之・加護野忠男(2023)『ゼミナール経営学入門(新装版)』日本経済新聞出版。 庭本佳和・藤井一弘編著(2008)『経営を動かす―その組織と管理の理論―』文眞堂。 特定非営利活動法人経営能力開発センター(2003)『経営学検定試験公式テキスト 経営学の基本』中央経済社。		
〔参考書〕 特に指定しません。必要に応じて授業時に紹介します。		
〔前提科目〕 特に指定しません。		

<p>【学修の課題、評価の方法】(テスト、レポート等) 授業内容の理解度や疑問点を把握するため、毎回、リアクションペーパーの記入・提出をお願いします。 評価は、 中間考査の結果(35%) 期末考査の結果(35%) リアクションペーパーの内容(30%) の配分で評価します。 中間考査と期末考査の内容などについては、授業中に説明します。 ただし、特別の配慮が必要な方は、個別に対応します。</p>	
<p>【評価の基準及びスケール】 上記の配分に従い、下記の点数の範囲で評価を行います。 A:100～80点, B:79～70点, C:69～60点, D:59～50点, F:49点以下</p>	
<p>【教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望】 本格的な経営学の内容を学ぶに際して学生の皆さんが理解しやすいように丁寧に、具体的事例を活用しながら授業を展開していきます。 授業開始前には、シラバスをもとに授業で取り扱う内容について参考文献などの事前に内容をみることが求められます。授業後は、授業内容を振り返り、内容を確認しておくこと、わからないことがあった場合は、担当教員に確認するなどして、疑問点を解決しておくことが求められます。授業における標準的な事前・事後学習時間は3時間です。</p>	
<p>【実務経歴】 調査研究機関(シンクタンク)に約10年間従事</p>	
<p style="text-align: center;">授業スケジュール</p>	
第1回	<p>テーマ(何を学ぶか):イントロダクション 内 容:授業を通じて「経営学」とは何かを考え、理解する方法を考えることができる。授業の進め方、評価の方法など授業方針を理解できる。 教科書・指定図書 特に指定しない。</p>
第2回	<p>テーマ(何を学ぶか):「経営学」とは何か? 内 容:経営学の学問としての「経営学」の概要を解説する。「経営学」の概念や定義を理解することができる。 教科書・指定図書 庭本(2008)序章</p>
第3回	<p>テーマ(何を学ぶか):学問としての「経営学」 内 容:経営学はどのようにして成立し、発展してきたのかを歴史的推移を通じて説明する。経営学の成立の過程を理解することができる。 教科書・指定図書 青島(2022)第3章</p>
第4回	<p>テーマ(何を学ぶか):企業と経営 内 容:経営学における「企業」に焦点をあて、概要を論じる。「経営」とは何かを理解できる。 教科書・指定図書 経営能力開発センター(2003)第1部 第1章、第3章</p>
第5回	<p>テーマ(何を学ぶか):組織 内 容:経営学における「組織」とは何かの概説。組織とは何かを理解できる。 教科書・指定図書 庭本(2008)第1章、伊丹・加護野(2023)第9章</p>
第6回	<p>テーマ(何を学ぶか):組織構造 内 容:分業の概念から、組織への展開についての概説。組織はどのような構造を持っているのかを理解できる。 教科書・指定図書 伊丹・加護野(2023)第10章</p>
第7回	<p>テーマ(何を学ぶか):組織の基本形態 内 容:組織の基本的な形態であるライン組織とファンクショナル組織の説明。組織の役割の違いが理解できる。 教科書・指定図書 経営能力開発センター(2003)第1部 第2章</p>

第8回 5/1分 休講	<p>テーマ(何を学ぶか): 休講の代替措置として、課題レポート(リアクションペーパー)①の実施 内 容: 「経営学とは何か?」について、講義内容を踏まえてレポートを執筆すること。(藤沼担当)</p> <p>教科書・指定図書</p>
第9回 5/8分 休講	<p>テーマ(何を学ぶか): 休講の代替措置として、課題レポート(リアクションペーパー)②の実施 内 容: 「企業と経営」について、講義内容を踏まえてレポートを執筆すること。(行本担当)</p> <p>教科書・指定図書</p>
第10回 5/10分 休講	<p>テーマ(何を学ぶか): 休講の代替措置として、課題レポート(リアクションペーパー)③の実施 内 容: 「組織」について、講義内容を踏まえてレポートを執筆すること。(中川担当)</p> <p>教科書・指定図書</p>
第11回 5/15	<p>テーマ(何を学ぶか): イン트로ダクション(今後の進め方) 内 容: 今後の講義の進め方の説明。改めて「経営学とは何か」を概観する。 「企業経営の学としての経営学」と「人間協働の学としての経営学」の差異と共通性の確認 教科書・指定図書: ノート講義</p>
第12回 5/17	<p>テーマ(何を学ぶか): 「経営」のイメージをもつ 内 容: 事例紹介(DVD鑑賞)と課題レポート(リアクションペーパー)④の実施 教科書・指定図書: ノート講義</p>
第13回 5/22	<p>テーマ(何を学ぶか): 経営学の主たる研究対象の「企業」はどのように発展してきたか 内 容: (広義)「所有と経営の分離」に伴う企業の行動原理の変容と経営学の展開 教科書・指定図書: ノート講義</p>
第14回 5/24	<p>テーマ(何を学ぶか): 経営学の学問としての歴史(1) 内 容: 経営学成立以前の「成行管理」の時代について説明する。 教科書・指定図書: ノート講義</p>
第15回 5/29	<p>テーマ(何を学ぶか): 経営学の学問としての歴史(2) 古典派理論 内 容: 経営学の嚆矢をなすF.W.テイラーの科学的管理法について概説する。 教科書・指定図書: ノート講義</p>
第16回 5/31	<p>テーマ(何を学ぶか): 経営学の学問としての歴史(3) 新古典派理論 内 容: 「人間関係論」について概説する。 教科書・指定図書: ノート講義</p>
第17回 6/5	<p>テーマ(何を学ぶか): 経営学の学問としての歴史(4) 近代理論(その1) 内 容: 現代経営学の基盤となっているバーナード理論の全体像を概説する。 教科書・指定図書: ノート講義</p>
第18回 6/7	<p>テーマ(何を学ぶか): 経営学の学問としての歴史(5) 近代理論(その2) 内 容: 現代経営学の基盤となっているバーナード理論の全体像を概説する。 教科書・指定図書: ノート講義</p>
第19回 6/12	<p>テーマ(何を学ぶか): 経営学の学問としての歴史(6) 近代理論(その3) 内 容: 前回に引き続いて、バーナード理論を基盤として、管理職能について概説する。 ①意思決定、②コミュニケーション、③モチベーション、④リーダーシップ 教科書・指定図書: ノート講義</p>
第20回 6/14	<p>テーマ(何を学ぶか): 前半のまとめ 内 容: これまでの授業を振り返り、中間考査を実施。 教科書・指定図書:</p>

第21回 6/19	<p>テーマ(何を学ぶか):組織構造の復習(担当:中川)</p> <p>内 容:経営における組織の役割、および組織マネジメントの概要について復習もかねて説明する。</p> <p>教科書・指定図書 伊丹・加護野(2003) 第9・10章</p>
第22回 6/21	<p>テーマ(何を学ぶか):戦略とは何か(担当:行本)</p> <p>内 容: 経営戦略におけるポジショニング重視の考え方と経営資源重視の考え方について学ぶ。</p> <p>教科書・指定図書:伊丹・加護野(2022)第1章</p>
第23回 6/26	<p>テーマ(何を学ぶか):インセンティブシステム(担当:中川)</p> <p>内 容:組織についての理解をふまえて、インセンティブとは何か、インセンティブシステムとは何かを解説する。</p> <p>教科書・指定図書 伊丹・加護野(2003) 第11章</p>
第24回 6/28	<p>テーマ(何を学ぶか): 競争のための差別化(担当:行本)</p> <p>内 容: 市場における競争相手との差別化戦略について学ぶ。</p> <p>教科書・指定図書:伊丹・加護野(2022)第2章</p>
第25回 7/3	<p>テーマ(何を学ぶか):経営理念と組織文化(担当:中川)</p> <p>内 容:経営のソフト面を担う経営理念と組織文化の役割について解説する。</p> <p>教科書・指定図書 伊丹・加護野(2003) 第13章</p>
第26回 7/5	<p>テーマ(何を学ぶか):競争優位とビジネスシステム(担当:行本)</p> <p>内 容: 競争優位を実現するためのビジネスシステムの構築について学ぶ。</p> <p>教科書・指定図書:伊丹・加護野(2022)第3章</p>
第27回 7/10	<p>テーマ(何を学ぶか):リーダーシップ(担当:中川)</p> <p>内 容:組織におけるリーダーシップの役割を解説する。</p> <p>教科書・指定図書 伊丹・加護野(2003) 第14章</p>
第28回 7/12	<p>テーマ(何を学ぶか): 多角化と事業ポートフォリオ(担当:行本)</p> <p>内 容: 多角化とポートフォリオ・マネジメントについて学ぶ。</p> <p>教科書・指定図書:伊丹・加護野(2022)第4章</p>
第29回 7/17	<p>テーマ(何を学ぶか):人の配置、育成、選抜、まとめ(担当:中川)</p> <p>内 容:組織文化、リーダーシップと並んで経営にとって重要な配置・育成・選抜について解説する。担当部分の概要についてまとめを行う。</p> <p>教科書・指定図書 伊丹・加護野(2003) 第15章</p>
第30回 7/19	<p>テーマ(何を学ぶか): 企業構造の再編成(担当:行本)</p> <p>内 容: 企業構造再編のマネジメントについて学ぶ。</p> <p>教科書・指定図書:伊丹・加護野(2022)第5章</p>
試 験	期末試験を実施